

第2回 代表者研修会報告

日時：令和7年10月7日（火）14：00～

会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

司会：竹嶋副会長

1 あいさつ

- (1) 静岡県養護教諭研究会 中島由紀江 会長
(2) 静岡県養護教諭研究会顧問校長 金野 教之 校長
(3) 静岡県教育委員会健康体育課健康食育班 伊郷さおり 教育主査
(4) 静岡県学校保健会 (資料配布済み) 山崎 優志 事務局長

文部科学省、中教審での養護教諭複数配置に向けた基準数引き下げの報道に触れ、一步前進だと感じている。

以下、今年度の本会における事業の進捗状況と今後の予定について報告。

・表彰事業

令和7年10月2日（木）審査委員会で各部門の表彰の対象者、学校を決定。

本日、メールで各地区の学校保健会を通して該当校へ知らせた。

・関東甲信越静学校保健大会

令和7年8月7日（木）に千葉県で開催された。静岡県からは、「学校歯科保健」で沼津市立大岡南小学校の浅岡恭子養護教諭に発表していただいた。

予防医学協会発行の「けんこう静岡」に浅岡先生の実践が紹介されている。

- ・令和8年8月6日、関東甲信越静学校保健大会が静岡県主催で開催される。
会場は男女共同参画センター「あざれあ」。協力をお願いしたい。

・第64回静岡県学校保健研究大会

令和7年11月13日（木）牧之原市相良総合センターで開催。

・第47回中学校・高等学校生徒保健委員活動発表会

令和7年12月23日（火）オンライン形式で開催。後日案内を発送。視聴をお願いしたい。

・第54回学校保健新聞コンクール

締め切りは令和7年11月14日（金）。現在4校の応募。多くの学校に応募してほしい。

・全国学校保健・安全研究大会

令和7年11月20日（木）21日（金）、神奈川県横浜市で開催。

受付期間が10月10日まで延長となった。

2 静岡県教育委員会所管事項

静岡県教育委員会健康体育課健康食育班

(資料 配付済み)

伊郷さおり 教育主査

日頃より、学校保健の推進に御尽力いただきありがとうございます。

昨年度中止となった養護教員講習会及び養護教諭夏季研修会を無事に開催することができました。役員や理事の皆様には、事前の準備や当日の運営等、多大なる御協力をいただき、ありがとうございました。研修会がよりよい研修となるよう検討していきますので、今後とも御協力お願ひいたします。来年度の養護教員講習会につきましては、検討・調整中です。しばらくお待ちください。

＜所管事項＞

養護教員講習会の資料として送付したものから、追加した内容について伝える。

※以下のページと番号は、所管事項資料のもの

P 1 (1) 感染症への対応

新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、ともに学級閉鎖の報告が上がっている。

厚生労働省から、10月3日、インフルエンザは流行シーズン入りしたとの発表があり、去年より1か月ほど早い流行入りとなっている。各校においては、感染症予防のための環境整備と健康教育の実施をお願いしたい。なお、令和7年9月3日付け教研第375号ー2でお知らせしたとおり、インフルエンザで学級閉鎖を行った場合は、所定の様式にて、所管の健康福祉センターまたは保健所、および市町教育委員会宛てに報告をお願いしたい。また、インフルエンザ以外の感染症による学級閉鎖を行った場合は、市町教育委員会のみ報告をお願いしたい。

12月1日は世界エイズデーと定められており、日本においても、12月1日を中心には「エイズに関する正しい知識等についての啓発活動を推進し、エイズ蔓延防止及び患者・感染者に対する差別・偏見の解消等を図ることとする」とされている。近日中に各校には通知を発送する。

P 7 (2) がん教育

④令和7年度外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業

教職員・外部講師合同研修会として、令和7年11月10日（月）午後、あざれあにて「がん教育 研修会」を行う。近日中に通知を発する。希望する場合は申込みが必要となる。内容は、外部講師を活用したがん教育の進め方や外部講師（がん経験者）とのグループワーク等を計画している。がん経験者の方から話を聞き、学校のがん教育の推進に生かしてほしい。

P 8 「3 その他」上から2つめ

「学校等におけるてんかん発作時の口腔用液（ブコラム®）の投与について」

抗けいれん剤「ブコラム®」は、令和7年10月1日付けで武田薬品工業株式会社からクリニジエン株式会社に製造販売承認を承継された。

※学校保健活動実態調査の令和7年度の調査を健康体育課から各市町教育委員会に発出した。学校生活管理指導表活用状況、脳脊髄液減少症、がん教育実施状況、性教育実施状況について、10月1日現在の状況で回答をお願いしたい。

3 議事

(資料 配付済み)

(1) 令和7年度静岡県養護教諭夏季研修会の反省

杉山幹事・関口書記

- ・講演「子供たちのネットとゲーム依存について多角的に考える」について、「とても参考になった」「参考になった」の回答が合わせて 99.5% であった。のことから大変有意義な研修であったことが分かる。
- ・資料をダウンロードする期間が短すぎる、もっと早めに公開してほしいとの意見があった。
- ・開催方式についての意見もあり、このことについては県教委とも相談していきたい。
- ・研修の手続きが複雑で分かりにくかったとの意見があり、今後、申し込み方法を分かりやすく案内するなど改善していきたい。

(2) 令和7年度静岡県養護教諭冬季研修会

中島会長

- ・実践事例集 19 「学校組織で取り組む『危機管理』Part II」にのっとった、参加型の研修会をグランシップで行う。
- ・研修会では、監修者の岡山大学元教授 田嶋八千代先生と国際救急法研究所理事長 宇田川規夫先生からご指導いただく。
- ・午前中は日本スポーツ振興センター名古屋支所職員と宇田川先生の講演、午後は実技となる。
- ・各校に届く要項から期間内に申し込みをお願いしたい。当日会場で参加できない方も学べるように、午前の講演のみ YouTube で限定配信を予定している。配信はホームページの会員限定ページに視聴のための URL を掲載する予定。
- ・会場参加には定員があるが、動画視聴を含め、多くの会員に参加していただけるよう地区理事からも案内をお願いしたい。

(3) 各委員会の報告

① 会誌「たちばな 68 号」編集報告

飛田委員長

- ・12月初旬の発刊に向けて進めている。
- ・仕様は 60 ページ 1 冊 500 円で販売する。原稿執筆者、たちばな編集委員には 1 冊贈呈する。
- ・「知りたい 聞きたい」のコーナーは、掛川市立東山口小学校の二久山先生の「フレンズ YOUNG での学びを生かした実践」を紹介している。
- ・申し込み文書は各地区理事から会員に配付し、令和7年10月30日（木）までに地区の取りまとめが委員長（沼津市立第四中学校 飛田）に届くように回収する。
- ※申込期日は各地区理事が設定する。
- ・委員長への提出は、FAX またはメールで行う。
- ・原稿執筆者、編集委員の贈呈分は、申込書には記入しない。
- ・12月初旬には、完成した冊子を各地区へ届ける予定。各地区理事には、会員、教育委員会等関係機関への冊子の発送、原稿執筆者へのお礼状の同封をお願いしたい。

② 「実践事例集 19」編集報告

秋澤委員長

- ・12月初旬の発刊を目指して、監修者の田嶋先生、宇田川先生のご指導のもとに編

集作業を進め、実践事例集本体は大詰めに入っている。

- ・現在は、すぐに使える教材資料をホームページに載せる準備を行っている。
- ・タイトルは、「学校組織で取り組む『危機管理』Part II」。
- ・仕様は 112 ページ 販売価格は 1 冊 1,000 円で販売する。原稿執筆者、事例、資料提供者、編集委員には 1 冊贈呈する。
- ・内容としては、全体を 3 章で構成しており、第 1 章では文部科学省から出されている学校の危機管理マニュアル等の評価見直しガイドラインなど、最新情報のポイントを絞って簡潔にまとめてある。第 2 章では、県下の学校で発生したヒヤリハット事例を取り上げ、第 3 章では、2 章で紹介した事例に関連する資料や教材をまとめてある。
- ・実践事例集 19 は、養護教諭だけでなく、全ての教職員が対象となるように構成してある。高度な医学的知識や専門的な解剖生理学等はあえて除外し、誰でも理解できる内容となっている。全体研修用と個人で学べる資料という構成でまとめてある。
- ・資料教材の一部を本研究会ホームページの会員限定ページに掲載する予定でいる。
- ・申し込みの流れ、期日は 会誌「たちばな」と同じ。
- ・申込先は事例集編集委員長（静岡市立大里中学校 秋澤）。
- ・後日、実践事例集のチラシデータを事務局より送信するので、会員に案内をお願いしたい。

③ 調査研究「実態調査」結果報告

竹嶋委員長

- ・6 月から委員 10 名で調査結果をまとめ、冊子を 10 月 3 日に完成させた。11 月からは令和 7 年度末の実態調査に向けて検討を進める。今後は、役員が関係機関に冊子を持って訪問し、結果を基に現状や課題、要望を伝えていく。
- ・今年度から、ホームページの会員限定ページに全調査結果を掲載する。プライバシー ポリシーも載せるので、正しく活用するよう会員に伝達してほしい。令和 7 年度末の実態調査については、第 3 回代表者研修会で地区理事に説明する予定。

【学校数、児童生徒数の推移】

- ・この 10 年間で、学校数が 39 校、小中学生が 3 万 8,589 名減少している。

【年齢、経験年数、免許取得】

- ・40 代以上が半数以上を占め、20~24 歳の若年層が少なく、将来的なリーダー不足が懸念される。2 種免許取得者の内、一種免許取得希望者が 49.5% いることから、終了となった認定講習の再開を要望していく。

【保健主任任用状況】

- ・小学校で半数、中学校で 5 割弱が保健主任に任用。今後は、養護教諭以外でも指導助言ができる教員を配置し、複数の視点を生かした体制づくりが必要。

【保健室からのメール送受信】

- ・静岡、浜松地区は 100% だが、静東、静西は 80% に満たない。全ての地区で保健室のインターネット接続環境の推進が望まれる。

【特別教室の空調設備】

- ・特別教室の空調設置率(スポットクーラー、扇風機)は高いが、熱中症予防のため、より効果のあるエアコンの早急な設置が望まれる。

【保健室登校生徒数】

- ・中学校は減少傾向だが、小学校は増加。集団に適応しづらくなっている児童生徒は年々増加傾向にある。

【心の健康支援】

- ・小学校は10年前と比較して10%近く増加し、多機関による長期的な支援が必要。

【教職員の保健室利用】

- ・教職員からの相談が90%以上あり、養護教諭が身近な相談役として認識されている。

【危機管理に関する校内研修の内容】

- ・一次救命実技、アレルギー対応の実施率が高い。健康面で配慮を要する児童生徒への対応研修も20%の学校が実施している。

【熱中症を発症した場所別人数】

- ・中学校では、特に屋内の発症人数が大きく増加しており、一層の予防に努める必要がある。

【複数配置の状況と効果】

- ・複数配置校は県全体で35校。児童生徒数が650名以上になると、半数以上の学校が複数配置を希望。複数配置の効果として「養護教諭同士での資質向上につながった」が70%を超える。弾力的な複数配置や支援体制の充実が望まれる。

★データ活用に関する提言(顧問校長先生より)★

- ・データの出口(活用目的)を明確にすべき。行政側が求める予算獲得などの出口に合わせたデータが必要である。

例) 热中症データと複数配置

- ・热中症対応状況を段階に分けて集計し、複数配置の必要性を示す有効なデータにすべき。「校長が考える複数配置の基準点」をデータで示せることが、市教委との交渉材料として重要。

- ・養護教諭が主催する一般教諭向けの救急処置や学校保健に関する研修を計画、実施することで、学校全体への貢献と体制強化につながる。

(4) 各地区から

① 情報交換(事前アンケートより)

佐野事務局

脊柱検査では、ハンプ計、レベルコンパス、脊柱側弯判定器、モアレトポグラフィー(モアレ)、シルエッター(自動体型撮影器)、スコリオマップなどがあるが、どの機器で検査をしているか?

→モアレが5地区、ハンプ計が2地区、シルエット1地区、レベルコンパス1地区、そして学校医の指示が7地区と一番多かった。

保健調査票(健康診断問診票)に月経随伴症を含む月経に伴う諸症状について記入する欄を設けているか。設けている場合は、どのような文を載せているか。

→保健調査票を利用しているというところが 12 地区、宿泊行事前の調査が 1 地区、お便りを配布後の申し出制が 1 地区、今のところないが 1 地区だった。

② 地区からの意見の中で、県教委に関わること

6 月 30 日以降に受けた健康診断をもとに、自校の学校医が必要と認める所見を記入、押印または氏名を記入した日を記入する。（歯科も同様）・受診月日、病院、医師名、健診名を備考に記入（歯科も同様）との説明だったが、学校医でなくてもいいということか。

（県教委回答）備考欄に記入する医師名は、学校医でなくてもよい。

耳鼻咽喉科健康診断結果連絡票の一部改訂を受けて

「鼓膜の観察ができない」は健康診断票にどのように記載したらいいか？また、校医によっては耳垢の場合を「鼓膜の観察ができない」と言われたが、その場合、健康診断票には「耳垢」と記載するのか、「鼓膜の観察ができない」と記載するのか、「何も記載しない」のか。

（県教委回答）文部科学省からは、「鼓膜の観察ができない」という記載でも構わないといっている。必要に応じて各学校医と相談のうえ、決定してほしい。

脊柱側弯症の結果については、文書料を支払って提出するが、軽度の生徒は医師会の報告のために必要なくらいなので、学校医の指示に従い、学校独自の報告書を保護者に記入していただく形としている学校がある。今は子ども医療助成で受診しても医療費の支払いがないため、文書料について過敏になる方もいる。様々な検診結果を主治医に記入していただくことについて、医師会の見解も含め、意見を伺いたい。

（県教委回答）医師会との意見交換会で、文書料について保護者が過敏になっていることは伝えたが、診断書と同じということで、文書料がかかることは理解していただきたいとのことだった。ただ、腎臓三次検診用紙については、定期受診中の児童生徒の提出について、検討してくださることになっている。

教職員健康診断表の取り扱いについて：退職の場合、冊子は退職した学校で 5 年保存となっているが、退職し、そのまま再任用で続けた場合は、今までの冊子をそのまま使用するのか、新しいものにするのか。

（県教委回答）各市町教育委員会に確認してほしい。

（5）各委員会の報告

④ ホームページアップ状況

秋定委員長

- ・今後は、冬季研修会の記録や報告書の作成を進めていく予定。
- ・編集委員が、掲示物や保健室風景の原稿依頼をした 12 校から、「ホームページ掲

載承諾書」を回収中である。

- ・今後の掲載予定として、令和6年度実態調査結果や「夏季研修会の報告書」を追加して載せていくため、理事の先生方から会員への周知をお願いしたい。
- ・昨年11月に新ホームページになった際に見つかった修正点について、全て洗い出し、修正して整えた。

【改善状況について】

I 報告書作成体制の改善

- ・学校からの出張旅費の状況を考慮した。報告書の作成は、夏季研修会は、浜松地区は悉皆研修ではないため、悉皆研修となる地域の委員に、冬季研修会は浜松地区の委員に割り振る体制を構築した。

II 記録方法の改善

- ・夏季研修会の記録は、講師に事前確認し、会員に周知の上、便利で美しい記録ができるスマートフォンを使用して行った。冬季研修会も同様にしていく予定。

III ID/パスワードの変更依頼

- ・ホームページ会員限定ページのログインIDとパスワードについて、会長から業者オカムラに情報提供し、変更の依頼をした。

IV 新しいID/パスワードの周知方法

- ・変更の基準日は6月1日である。12月初旬に発行予定の「たちばな68号」に新しいログインIDとパスワードを掲載するよう調整している。
- ・新しいIDとパスワードは、第1回代表者会の冊子（研究会4の下の部分）にも記載されているため、改めて理事から会員に知らせていただきたい。
- ・実践事例集や実態調査の案内にも、新しいホームページのQRコードを載せていく。

【今後の検討事項（2点）】

- 1 会員限定ページにログインする際のIDやパスワードとアクセス方法を分かりやすくする。
- 2 会員限定ページの内容について検討する。

⑤ 組織検討委員会報告

杉山委員長

- ・12月15日（月）組織検討委員会開催予定

＜内容＞政令市の組織の状況や相互理解

静岡県養護教諭研究会とのつながり

静岡県養護教諭研究会組織の再確認について

⑥ 役員選出委員会

木内委員長

- ・現在、会長、副会長候補への正式な依頼を進めている。内諾を得たあと、10月中に該当地区の理事へ連絡をする。
- ・会長候補となった地区には、事務局・会計の選出を依頼する。
- ・幹事、書記については11月上旬に該当地区の理事へ連絡を入れ、地区での選出を依頼する。

(6) 令和7年度静岡県養護教諭研究会活動反省について

佐野事務局

- ・12月に令和7年度静岡県養護教諭研究会活動反省調査を実施する。
- ・調査票は資料を参照。昨年度と同様、フォームでの回答とする。フォームでの回答方法については資料を参照。
- ・各地区で回答期限を設定する。
- ・活動反省は資料の計画の流れの通りに進めていく。会誌『たちばな』と『実践事例集』が会員の方々に届いていないと回答できない内容があるため、そのあたりを考慮して各地区で提出期限を決めてほしい。
- ・地区理事は、地区全会員の回答を確認し、12月26日（金）までに事務局に報告をする。
- ・報告する際の留意事項として、複数配置の方もそれが答えることや小中一貫校などで兼務している場合、養護教諭が1名で小中それぞれ学校名がある場合など、どちらの学校名で回答しているかなどが分かるように、事務局に詳しく報告してほしい。
- ・会誌『たちばな』、実践事例集、実態調査の作成には関係者が多くの時間と労力をかけた。ぜひ会員には内容をじっくり見ていただき、感想や意見を寄せてほしい。

4 連絡事項

(1) 会報「きんもくせい」について

関口書記

- ・「きんもくせい 145号」を発行した。資料はメール配信されるため、各地区で会員への配布と校内回覧を依頼する。

(2) 会員名簿について

関口書記

- ・6月からの会員数の変更はなし。最新の情報はホームページに掲載。年度途中に会員数変更があった場合は、書記の関口氏まで報告をしてほしい。

(3) 会計より

小池会計

- ・会誌「たちばな 68号」と「実践事例集」の代金納入について依頼する。納入期日は令和8年1月13日（火）で、各地区で取りまとめて口座振込で納入をお願いしたい。また、請求書・領収書形式の報告書を令和7年10月30日（木）までにFAXで提出するようお願いしたい。

(4) 事務局より 理事依頼事項について

佐野事務局

- ・研修会に関する必要事項を、地区会員に周知徹底をお願いしたい。

(5) その他

- ・研修会報告 「全国養護教諭連絡協議会 第27回研修会（紙面報告）」

・フレンズ YOUNG

中島会長

令和7年11月22日（土）アミューズ豊田

令和7年12月13日（土）あざれあ

【内容】 ◇悩みや疑問を語り合い、解決への糸口につなげるグループワーク

◇現役養護教諭による健康教育の実践発表